

ニコニコ大好き紙しばい大作戦

「きつつきの商売」の音読を、1年生、2年生、個別学習教室で発表して満足した子どもたちは、「『また、来てね』と言われてうれしかった。もう一度行って、もっと喜ばせたい」という思いをもちました。そこで、学校図書館司書の先生に、紹介していただいた紙芝居に取り組むことにしました。自分たちで練習に取り組んできた子どもたちは、紙芝居の専門家に見せて、アドバイスをいただきました。専門家の方からは、とても褒められて、さらによくするアドバイスをたくさんいただきました。専門家の方からのアドバイスをもとに、「声の大きさ」「役になりきる」「ぬく工夫」「はやさ」「立つ位置」に気を付けて練習しレベルアップしてきました。



そして、1年生、2年生、個別学習教室に行き、紙芝居を発表しました。紙芝居を発表すると、たくさんの感想をもらうことができました。お客さんの反応を思い出して、喜んでもらったかを振り返りました。「ニコニコ笑顔で聞いてくれた」や「なんだか、応援してくれているようだった」など、きっと喜んでもらったはずというプラスの意見がたくさんでした。お客さんの反応を見ながら演じることで、あることに気が付きました。お客さんとの言葉のやりとりをすることで、お客さんとなかよくなれるし、より喜んでもらうことができるということです。そのためには、「間」をあけることが大切だと気が付きました。そのことに気をつけてさらに練習しています。今後は、自作の紙芝居を作っているいろいろなところで披露する予定です。